



# 根堀台だより

平成29年12月14日

第 84号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

## 1年総合発表会 小学6年生へ伝えるものは



真剣な眼差しで発表



積極的に質問する6年生

12月13日(水)の5・6校時、1年生が由利小学校の6年生を招いて「総合的な学習の時間発表会」を行いました。この発表会は先月1年生が秋田市で行った「職場体験学習」についてグループ毎に発表を行い、それに対して「質疑応答」を行うものです。6年生には1年後の「中学生になった自分の姿」を想像する機会となります。このような異学年交流、特に小中の枠を越えた連携は小中のスムーズな接続という点でも大変有意義なものといえます。

当日は、各班とも「活動内容」「大変だったこと」「楽しかったこと」「学んだこと」「働くとは」の5つの視点で発表を行いました。模造紙2枚に概要をまとめ、個人の感想は手持ちの画用紙にまとめるなどできるだけ分かりやすく発表しようという思いが伝わるものでした。特に、「人生は何が起こるか分からない」「後悔しない生き方をしよう」「働くことは誰かを幸せにすることだ」「ちゃんとしないと信頼を無くす」「分からないこと、大変なことがあるのは当たり前」など、訪問先の方々の言葉をしっかりと受け止め、自分はこれからどうしていくべきかきちんと考えた発表になっていました。

この中学生の発表に対して、小学生からは沢山の質問や感想が出されました。「何故その職場を選んだのか」「職場体験を終えて夢は変わったのか」「中学生としてこれからどうしていきたいのか」など、大変するどい質問が出されました。「自分や他人のために責任をもって取り組むために、小学校時代はどうしたらよいのか」という6年生の質問に、「小学生なら委員会活動をしっかり頑張ること、困っている人がいたら助けてあげること」と明快な回答をすぐに返していたのには驚かされました。来年入学する6年生も大変立派ですが、1年生の成長には目を見張るものがありました。

特に、「自分はすぐに何でも投げ出しそうになってしまうけど、由利中学校の『夢あきらめない』という目標をしっかりとって、勉強も、部活動もあきらめないで頑張っていきたい。」という感想を聞いて、「1年生も本物の由利中生になったな。」と大変頼もしく思いました。中学生としての誇りをもって、一種懸命頑張った「総合的な学習の時間発表会」でした。

# 修学旅行2日目は 順調に進みました



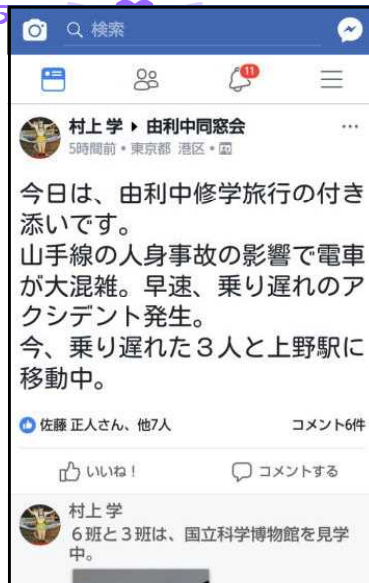
朝からガッツリ食べて頑張ります



東京支部のサポートの皆さんと



電車で揺られて



12月12日(火)の修学旅行初日は大変ドラマチックな1日となりました。しかも、当日の庄内空港発着便では、搭乗するはずの羽田行き ANA 396便のみ強風で欠航というおまけまでつきました。

東北新社見学後半は睡魔との戦いのような感じでしたが2年生はそんなことはものともせず無事初日を終わりました。

2日目の朝は、山手線が人身事故で運休するというアクシデントもありましたが、全員しっかり朝食を取り、同窓会東京支部の皆さんのサポートの下、班別自主研修を行いました。途中、何故か同じホームにいながら電車に乗り遅れるというアクシデントもあったようです。ホームの混雑に乗るタイミングがつかめなかったのだと思います。これも秋田では経験できないよい勉強になったことでしょうか。それでも、集合時には誰一人遅れることも無く全員無事に班別研修を終えました。2年生本当によく頑張りました。

夜は「よしもと」と「劇団四季」の2つに分かれての行動となりました。「電車でも駅でも、はぐれず…渋谷で降りかけた人もいましたが無事、ルミネ隊は到着し、チケットを配りました。このチケットはなくなりませんように。…とメールを送ろうとした瞬間にチケットを落とす男子と打ったら、また落とす男子。」と〇〇〇先生からのメールです。沢山の人の見てチケットを落とすくらい緊張している男子の様子が頭に浮かびます。(左下の写真が「よしもと」にて)

また、「劇団四季」の鑑賞グループの方は終演が午後9時過ぎということで、ホテルに帰ってきたのは10時になっていたそうです。1日中都市内を歩き回り、夜も遅くまで活動し、34名は大分疲れたことだと思います。

3日目は待ちに待った「東京ディズニーシー」となります。夜は冷え込むようですが、若さと熱気で心ゆくまで夢の国を満喫してくれることでしょうか。修学旅行もいよいよ折り返しとなります。事故無く、健康で、34名の仲間と共に沢山の思い出を作ってほしいものです。

